

34 カジカ中卵型

(カジカ科)

兵庫県ランク:B

Cottus sp.

環境省ランク:EN

種の概要

全長15 c m程度。河川の中・下流域の砂礫底に生息する。主に水生昆虫を食べる。繁殖期は3～4月で、雄が小さな岩下に産卵床を構え、複数の雌を呼び込んで岩の天井に産卵させる。孵化後の仔魚は、一旦沿岸に降海するが、すぐに河川に遡上する。日本固有種で、北海道、本州の日本海側、本州、四国の瀬戸内海側、九州西北部に分布する。



県内における生息状況及びその他特記事項

県内では日本海側の数河川の中・下流域で確認されているが、個体数は少ない。

写真提供: 庄子 恭平

保護上の留意点

本種は川で産卵した後、ふ化した仔魚が川を流れ下り、海での浮遊生活を送った後、稚魚に成長して川を遡上する。遡上能力が低いため、遡上を妨げる堰などの河川横断工作物の存在が大きな脅威になっている。生息場所、産卵場所として大型の礫あるいは小岩の下部に間隙がある浮石状態が保たれている必要がある。適度な出水を伴った、河川の土砂収支の回復に伴う河床礫の間隙の創出が根本的な課題である。

県内分布

豊岡市、朝来市、香美町

【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	○
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	
	孤立	
学術性	極限	○
	限界	
	希少	○

